



オミナエシ



オトコエシ



ハギ



タカノハススキ



横に斑が入った様を鷹の羽に見立てて名付けられました。ススキの園芸品種です。

- ① ヒガンバナ
- ② キンミズヒキ
- ④ ヤブラン

山野草園



番号の場所でご覧いただけます



ヒガンバナ

秋のお彼岸が近くなると花茎が出てきて花を咲かせます。花弁は反り返り展開し、糸の様なオシベとメシベを伸ばします。花が終わると葉が出てきます。花と葉が同時に現れません。葉を伸ばしたまま冬を越し鱗茎（りんけい）に栄養を蓄え夏に地上部は枯れ休眠します。



つぼみ



ほころび始めた花弁



キンミズヒキ



台湾ホトトギス



マツカゼソウ



コアカソ



マルバフジバカマ



ヌスビトハギ

- ① ヒガンバナ
- ② キンミズヒキ
- ③ ミズヒキ
- ④ ヤブラン

- ① ヒガンバナ
- ② キンミズヒキ
- ③ ミズヒキ
- ④ ヤブラン



ミズヒキ



ヤブラン



キンモクセイ

花弁は 4 枚で小さなオレンジ色の花を咲かせます。花の香りが良くクチナシ、ジンチョウゲと並び「三香木」の一つとされています。中国が原産で日本には江戸時代に渡来しました。雌雄異株で日本にあるキンモクセイは雄株のため結実しません。



花ごよみ

2015 年
9月18日
145号

発行
公財)東京動物園協会
井の頭自然文化園